

2019年1月24日
環境資源部資源循環課

境川クリーンセンター新施設運営に伴う

助燃剤の清掃工場への搬入について

境川クリーンセンターは、町田市の上尿投入施設として1973年にしゅん工しました。その後、公共下水道の普及に伴い、1997年より施設の一部を上尿等の投入施設として運営を続けてきました。現在、この施設の老朽化が著しいことから、敷地内で環境に配慮した改修工事を進めています。

○施設概要（目的）

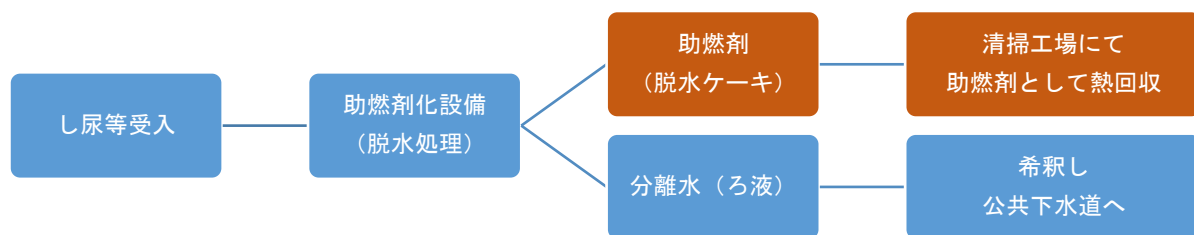
新施設では、上尿や浄化槽汚泥等を脱水することで、廃棄物の発生抑制と、資源として積極的な有効利用を図るほか、公共下水道への負荷を低減しています。

脱水後の汚泥は、そのまま自燃（燃料を必要とせず燃焼）する助燃剤として再利用します。

この脱水に伴い、公共下水道への投入時に過去から利用している分離水希釈用の井戸水使用量を削減することで、地下水資源を保護し、環境負荷を低減します。

また、設備を収容する建築物を鉄筋コンクリート製とすることで、振動・騒音・悪臭等の影響を抑えるなど、周辺環境に配慮しています。

○新施設処理フロー



○施設の稼働について

- ・試運転開始 → 2019年2月下旬頃
- ・助燃剤搬出予定 → 試運転開始後随時（1回/3日）
- ・発生予定量 → 1.3t/日

○助燃剤の清掃工場への搬入について

- ・搬入予定時間 → 11:00前後
- ・搬入日（周期） → 3日に1回(4t車で運搬予定)
- ・臭気対策 → 消臭剤散布(マスキングタイプ)

尚、2019年4月（本稼働）以降も同様の搬入を計画しています。